応用物理学会創立80周年記念シンポジウム

日時：2027年3月16日(火)9:30～17:30　東京・上智大学四谷キャンパス
（応用物理学会春季学術講演会初日）

応用物理学会は創立以来、基礎的な学理の探究から産業への展開まで、幅広い分野の発展を支え、数多くの研究者・技術者とともに新たな価値を創造してきました。本シンポジウムでは半導体・光・材料・エネルギー・量子・プロセスなど、各分野を牽引してきた第一人者の講演を通して、応用物理の歩みを振り返るとともに、次の10年、20年の近未来社会を応用物理がどのように切り拓いていくのか、その可能性を展望します。

開会ご挨拶　(9:30～9:50)

安達千波矢（応用物理学会 会長）
生田知子　（文科省 研究振興局）
中野宏和　（経産省 イノベーション・環境局）

基調講演　(9:50～10:10)

波多野睦子（科学大, CSTI）　100周年に向け応用物理学が拓く科学と社会の共創

名誉会員表彰　(10:10～10:20)

第1部：応用物理の学術創生の歩み　(10:20～12:00，13:00～15:00)

宮坂　力	（桐蔭横浜大, 早大）	ハライドペロブスカイト半導体の拓く光電変換研究の新たな挑戦
伊賀健一	（科学大）	面発光レーザの50年＋
荒川泰彦	（東大）	半導体量子ナノ構造の発展―超格子から量子ドット、そして量子技術の時代へ
大野英男	（NICT, 東北大）	応物とスピントロニクス
堀　勝	（名大）	低温プラズマ革命 ― 新たな未来社会を拓くプロセスサイエンス

鳥海　明	（東大）	僕が見てきた昨日までのシリコン
中村泰信	（東大, 理研）	巨視的量子コヒーレンスから超伝導量子コンピュータへ
細野秀雄	（科学大, NIMS）	物質の可能性：IGZO半導体、鉄系超伝導、電子化物触媒
木本恒暢	（京大）	SiCパワー半導体の台頭と社会的インパクト
天野　浩	（名大）	窒化物半導体国際会議の礎を築いた応用物理学会
安達千波矢	（九大）	有機光エレクトロニクスの新展開―OLEDから先端フォトニクスへ

第2部：応用物理が拓く新しい社会　(15:20～17:30)

宮島秀史	（キオクシア）	記憶の進化: AI時代における3Dフラッシュメモリの役割と挑戦
藤平龍彦	（富士電機）	パワー半導体・パワーエレクトロニクスが切り拓くGX・カーボンニュートラル社会
松ケ谷和沖	（ミライズ テクノロジーズ）	モビリティ社会の未来を支える車載半導体技術
松尾慎治	（NTT）	IOWNが描く未来社会と応用物理の新たなフロンティア
為近恵美	（横浜国大）	応用物理で描く未来ビジョンの取組み
筑本知子	（阪大）	総括：応用物理学会80周年、その先へ

公益社団法人 応用物理学会